

第5回理事会 ご報告

日 時 平成29年1月28日(土) 9:30~12:30 ふれあい会館会議室

1 会長挨拶

→市自連を動かしているのは理事会。年度末に向け忙しくなるが、自治会がより良くなるよう、より一層ご尽力いただきたい。

2 依頼事項

- ・座間市社会福祉協議会第3次地域福祉活動計画に関するアンケート調査のお願い
(社会福祉協議会地域福祉班 小林孝行氏)

→理事会終了後、記入済アンケートを回収。

3 報告事項

(1) 平成28年度事業の報告書について

①市民レクリエーション大会実施概要と決算書

②県安全安心まちづくり旬間パトロール報告一覧表

延べ参加人数：714名

③平成28年度市内一斉防犯パトロール実施報告一覧表

実施日：平成28年12月4日(日)

参加者：1250名

(2) 「座間市ごみ散乱防止ネットの貸与に関する要綱」について

平成28年12月1日改定

→改定点：第7条(貸与期間)について、期間が5年から3年に短縮された。

→行政で用意できるネットは年間200枚位。集積所は市内に2000箇所位ある。

ネットは地域で購入するのが基本。購入できない場合に行政から貸与される。

→要綱の内容は、自治会長や区長、班長に周知する。

(3) 平成29年度定期総会について

①定期総会までのスケジュール

→市自連定期総会は5/27(土)に開催。

→「単位自治会会員数報告書」を4/22の新旧理事会にて配布する。

代表理事が単位自治会の5月1日の会員数を取りまとめ、事務局に報告する。

→単位自治会の「総会議案書」、「自治会長・配布連絡員名簿」の提出依頼と書類は、2月24日(金)に事務局から発送する(3/31が提出期日)。

→「新理事名簿」「代議員名簿」などの書類は第6回理事会で代表理事に配布する。

②地区自連別代議員数一覧表

算定基準日：平成28年10月1日

代議員総数：288名

→定数288名を理事会として了承。

(4) 自治会館の状況調査について

・「座間市地域自治振興事業補助金交付要綱」への緑ヶ丘地区自連から出た要望に対する基礎資料とするためのもの。

・調査対象地区自連：座間、入谷第二、相模が丘、小松原、ひばりが丘、東原さがみ野、南栗原
他の地区自連は調査済

・調査期日：第6回理事会（3/18）まで

→行政に市自連として要望するか否かの基礎データとするため、実態調査を依頼。

→調査で知り得た情報は備考欄に記載する。

(5) 第4回市との意見交換会について

・実施日：平成29年1月17日（火）市庁舎4-2会議室
協議事項・今後の意見交換会のあり方について

→今後の意見交換のあり方について、市民協働課と役員で話し合った。

→地区自連や単位自治会から行政に要望がある場合は、広聴人權課広聴相談係に文書で提出すると、該当部署から文書で回答がくる。

(6) 平成29年度理事等視察研修会について

3案から選択する。予算は1泊2日と同規模の額で組む。

a.従来どおりの希望者全員参加による日帰りか1泊2日。

b.代表者5名（会長、副会長、該当部の理事等）程度で視察。後日勉強会と懇親会。

c.講師を招聘し講習会を開催し、講習会のあと懇親会を行う。

※平成29年度会長が3案からいずれかに決める。

→平成29年度市自連会長が3案いずれかから決めることを理事会として承認。

4 協議事項

(1) 総務部会関連

①規約、規約細則等改定案について

意見等回答期限：平成29年2月10日（金）

→意見：第30条（4）部担当役員

4名以内と「以内」がついているが「以内」は外すべき。

理由⇒部の数が決まっているので、担当者不足による兼務が発生しないように
人数を確実に確保するため。

→意見等はEメールや電話、FAXで事務局まで。

→改定案について寄せられた意見があれば、役員会で検討する。

②「自治会活動推進モデル地区」要綱について

平成28年度の南栗原地区自連への助成金で地区自連を一巡した。

→平成28年度で廃止することを理事会として承認。

→要綱は、経過についての文言を追加し、事務局で保管する。

③自治会長研修会の開催について

・開催主体：地区自連、もしくは単位自治会が望ましい。

理由：単位自治会によっては会長の引き継ぎがしっかりとできていないところもあり、実情を知っている地区自連、或いは単位自治会が当事者として開催するのが最適と考えたため。

地区自連から依頼があれば市自連が後方支援として行う。

・開催時期：4月か5月。日にちは地区自連が決める。

→3月末までに事務局に報告する。日程が重なった場合は調整する。

・内容：会長や会計の引き継ぎ、自治会で困っている事について。

内容（会計処理や補助金等）で市自連が説明するのが適当であれば、市自連が対応する。

・資料：地区自連で作成する。依頼があれば市自連で資料を用意する。

→意見：「いっとき集合場所」「宅建業者との協定」「会計科目」など、地区自連や自治会によって解釈がまちまちになる事柄について共通理解する場が自治会長研修会だと考えている。

回答：理事会の場で確認や理解したことを理事が持ち帰り、各地区自連内に説明してほしい。

→意見・行政の要綱など、行政に関する基本的な手引書がないと自治会との関係が分からない。

・口頭での自治会長引継ぎだと、どの程度伝わるか疑問。

回答：役員会で検討する。

④広報紙の発行について

a.市自連ニュース第13号

発行予定：2月中旬

→「3市自治会組織との情報交換会について」「自治会長研修会」「総会のお知らせ」などを掲載する。

b.広報ツールの発行回数案

・「ふれあい」年2回 7月、1月

→内容案7月：「新年度活動方針」「各部の活動方針」「新体制の紹介」「自治会行事」等
1月：「年頭挨拶」「市自連の事業」等

各地区自連や自治会から話題を提供してもらう。

・市自連ニュース年3回 6月、10月、2月

→速報性の高い記事を掲載する。

c.広報ざまへの記事掲載

- ・平成29年度、30年度も継続する。
- ・毎月15日号に掲載。
- ・今までは単位自治会のトピックス情報のみだったが、来年度からは、市自連として発信したい出来事や話題も併せて掲載していく。

(2) 組織部関連

①海老名市、綾瀬市の自治会組織との情報交換会について

開催日時：平成29年1月24日（火）15：30～17：15

開催場所：綾瀬市役所 6階視聴覚室

参加者：座間市 6名（自治会総連合会4名、行政2名）

海老名市11名（自治会連絡協議会9名、行政2名）

綾瀬市 18名（自治会長連絡協議会14名、行政4名）

議 題：・自治会加入促進について

→綾瀬市自連協：入会者に、総会資料、規約、安否確認のための黄色いハンカチなどをセットで渡している。

海老名市自連協：キャンペーン用のチラシやのぼり旗を活用して啓発している

市自連：海老名とほとんど同じ活動をしているが、加入率が20%以上違う。

加入率の計算方法に違いはある。（海老名市は単身世帯を除いている）

→議事録が事務局（今回は綾瀬市自連協）から届き次第、理事にも配布する。

②加入促進キャンペーンについて

期間：3月27日（月）～4月1日（土）

時間：前半⇒9：00～12：30（4/1は11：30まで）

後半⇒12：30～16：00

→手当は担当者全員に500円支払うことを理事会として了承。

③不動産への自治会長情報開示について

・第4回理事会で各地区代表理事に自治会長への情報開示の是非について確認を依頼。期日（H28.12）までに事務局に情報開示を望まない旨の連絡はなし。

・自治会長への都度の電話連絡は止め、FAXもしくは郵送で取得申請書のコピーを送る。

・代表理事には理事会間の分に発生した情報をまとめて報告。

・自治会長、代表理事、市自連で情報を共有する。

→今後の対応は以下2点を理事会として承認。

1) 都度の電話連絡は止め、FAXや郵送で自治会長に取得申請書のコピーを送る。

2) 代表理事には理事会にて理事会間に発生した情報をまとめて報告し、自治会長、代表理事、市自連で情報共有する。

→自治会未加入のマンションが多いので、情報取得に力を入れ加入促進につなげたい。

→空白地帯が自治会地域をまたいでいるときは、地区自連会長も交え双方の自治会長で話し合い空白地帯を穴埋めしていく。

(3) 市自連ホームページについて

単位自治会への記事掲載依頼

→どうやって記事を出して貰い、見て貰うかが課題。

→防犯パトロール、祭り、どんど焼きなど、市レク以外の行事の記事を増やしたい。

(4) 防災防犯部関連

①第2回自主防災組織リーダー研修会について

実施日：平成28年12月2日（金）

参加者：20名（防災防犯部1名含む）

→・初めての参加者が多かった。

・防災備蓄用資材を認識できた。

・初期対応の実体験が有効だった。

→新規の参加者を集めることが課題。

②防犯パトロール車について

a.マグネットシート管理使用規程（案）

→マグネットシートは2枚セットで両サイドに貼る。

→「マグネットシート管理使用規程案」を理事会として承認。

→意見：三浦理事提案の防犯パトロール車活用案は部内でどう取り扱っているのか。

回答：3月理事会で報告する。

b.試乗報告

→市自連ホームページに記事を掲載する。

→マイクやテープレコーダの使い方などの使用マニュアルを作っていきたい。

③自主防災組織の活動状況表について

→地区毎に内容をチェックし、修正箇所があれば事務局へ報告する。

→次回の第6回理事会に修正したものを提出する。

④一時（いつとき）集合場所について

自治会内での設置と周知は市自連の責任。

→平成29年度に市自連主導で全自治会内での設置と周知を徹底していく。

⑤次年度の自主防災リーダー研修会について

→参加したことの無い人を誘ってほしい。

→年2回（6月・12月を予定）実施する。

(5) 環境部関連

①上水道施設視察研修会について

実施日：平成28年11月22日（火）午前中

参加者：参加者18名（環境部1名含む）

②高座清掃施設等視察研修会について

第3回実施日：平成28年12月7日（水）相模が丘、小松原、ひばりが丘地区

参加者15名（環境部1名含む）

第4回実施日：平成29年1月18日（水）東原さがみ野、栗原、南栗原地区

参加者19名（環境部1名含む）

→女性が参加し易くする、2～3名の知り合いでの参加を促す。

→土・日に開催してほしいとの声があるので、行政と相談する。

③次年度の高座清掃施設等視察研修会について

開催回数：4回

地区自連の順番は28年度と逆回り。

→順番については、理事会として承認する。

(6) 高齢者対策補助金の交付について

→平成28年度で終了する。

→意見：終了する理由、交付のはじまった経緯などを教えてほしい。

回答：・平成25年度より高齢者世帯に対して自治会費減免をしている単位自治会への補填を趣旨としてはじまった。

・補助金の使途は単位自治会に一任していたが、高齢者関連ではない使途に補助金が使われているケースが多かった。

・手を挙げた自治会のみ補助があるのは公平さを欠く。

・一度立ち止まろうという事で中止を役員会から提案した。

・良い施策があれば、また始めれば良い。

以 上